

第1回 現役世代のがん対策推進検討会 の設置について

～公民連携での取組を目指して～

令和8年5月26日(火)

保健医療部疾病対策課

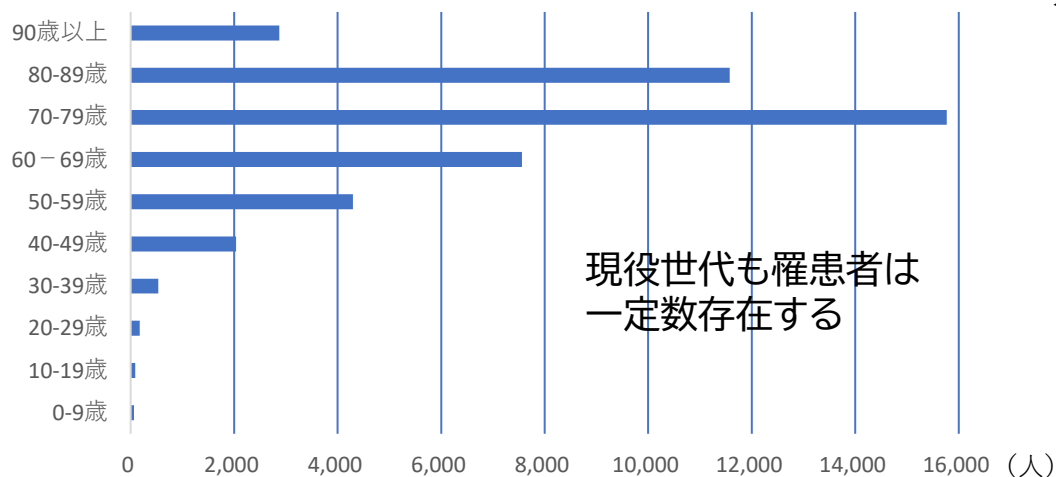
現役世代のがん対策推進検討会の設置

現役世代が安心してがん治療と社会参画を両立できるよう、両立支援に関する具体策を検討するため、医療現場、関係団体、企業、当事者等からなる検討会を設置する。

- ◆ 日本人の約2人に1人ががんに罹患すると推計され、かつては「不治の病」とされていたがんも、医療の進歩により生存率が向上し、**現在では「長く付き合う病気」へと変化**
- ◆ がんに罹患しても**現役世代が社会参画を両立し、社会や地域と関り続けることができる環境づくりが重要**
- ◆ **県民一人ひとりの生活の質を高め、将来にわたって安心して暮らせる社会を実現**

➤ 第1回検討会を 5月26日(火)に開催

<がん罹患数(兵庫県)>



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)より

<仕事を持ちながらがんで通院している者(全国)>

| 区分 | 平成22年 | 令和4年 |
|----|--------|---------------|
| 男性 | 14.4万人 | <u>19.2万人</u> |
| 女性 | 18.1万人 | <u>30.7万人</u> |

厚労省「治療と就業の両立支援指針」より

現役世代のがん対策推進検討会の設置

1 検討内容(想定)

- 相談体制の整備、強化
- 就労環境や支援体制を整える取組
- がんに対する正しい知識の啓発、社会的理解の促進方策
- がん患者アピアランスサポート事業のあり方

3 スケジュール

| 時期 | 内容 |
|--------------|-----------------------|
| R8.5 5.26 | 検討会を設置 第1回 検討会 |
| } | 適宜検討会を開催 (3回程度を想定) |
| R8 秋頃 | 結果とりまとめ |

2 構成員

現状をよく理解している現場の実務担当者、当事者を中心に構成（14名）

| 区分 | 構成員 |
|------|--|
| 医療関係 | 県立がんセンター 兵庫医科大学病院 |
| 学識者 | 神戸大学大学院 |
| 当事者 | ひょうごがん患者連絡会推薦 |
| 企業 | 日本生命保険相互会社 アスカカンパニー株式会社 |
| 行政関係 | 兵庫労働局 神戸市 県市長会推薦 県町村会推薦 |
| 関係団体 | 兵庫県医師会 兵庫県健康財団 兵庫県経営者協会 兵庫県社会保険労務士会 |

現役世代のがん対策推進検討会の方向性

第1回

(1) 現状の把握、課題の共有

- 兵庫県のがん対策の現状・課題について広く共有
- 国の動向や、有識者からの意見などを共有

(2) 意見交換

- がん対策の取組みについて、現場目線での現状・課題の共有
- 各団体等への質疑など

第2回

課題対応策の検討

- 第1回検討会で出た現状課題を踏まえた対応策の協議
- 公民連携を含む新たな取組みの検討

第3回

検討結果のとりまとめ

- 現状・課題のとりまとめ
- 既存事業のブラッシュアップ
- 公民連携を含む新規施策の検討

検討後

令和9年度施策立案



兵庫県